

【家庭用蓄電池 | 利用者アンケート調査レポート】

本レポートは、家庭用蓄電池の「節電効率の問題」に関する利用者アンケートを基に、多角的な視点で分析しました。

以下はアンケート調査の結果とその概要です。

アンケート調査目的	節電効率に関する調査
アンケート対象者	家庭用蓄電池の利用者
アンケート方法	クラウドワークス
アンケート調査人数	30名
アンケート実施日	2026年1月9日
アンケート調査地域	日本

■回答者属性

- 性別

- ・女性: 50%
- ・男性: 50%

- 年代

- ・20代: 10%
- ・30代: 40%
- ・40代: 33%
- ・50代: 17%
- ・60代以上: 0%

- お住まいの地域

- ・愛知: 13%
- ・大阪: 13%
- ・東京: 10%
- ・福岡: 10%
- ・京都: 7%
- ・兵庫: 7%
- ・北海道: 3%
- ・宮城: 3%
- ・茨城: 3%
- ・群馬: 3%
- ・埼玉: 3%
- ・千葉: 3%
- ・神奈川: 3%
- ・富山: 3%
- ・岐阜: 3%

- ・滋賀:3%
- ・広島:3%
- ・長崎:3%

■ 節電効率に関する具体的なご感想

※以下、回答全文

- ・蓄電池を導入してからは、電気を「いつ・どう使うか」を意識するようになりました。日中に発電した電気をできるだけ蓄電池に回し、夜間や電気代の高い時間帯に使うことで、導入前と比べて電気代は少しずつ抑えられていると感じています。
- ・深夜電力を蓄電して昼間に使うように設定しているため、導入前と比べて電気代は月に数千円程度安くなりました。
- ・夜間の安い電気を蓄えて昼間に使用することで、電気料金のピークカットにつながり、長期的には費用対効果が見込めると感じています。
- ・太陽光パネルと蓄電池を併用することで、昼間は太陽光、夜は蓄電池と効率よく電力を使えるようになりました。売電収入は減りましたが、その分電気代が下がっているので総合的には満足しています。
- ・電気代は月に3,000~4,000円ほど安くなり、節電効果は実感しています。
- ・エアコンや洗濯機など電力を多く使う家電は、できるだけ昼間の蓄電池運転中に使うよう意識しています。
- ・電気を売るよりも、自家消費して電気代を減らす方が得だと感じています。
- ・夜間の安い電力を充電し、電気代の高い昼間に使うことで、購入する電気代を削減できています。
- ・電気代は月に1,500円ほど削減できました。節電を意識する際は、家電の使い方やタイマー設定を組み合わせると効率が上がります。
- ・導入前と比較して、電力会社から購入する電力量が明らかに減りました。
- ・一般家庭との比較がアプリで見られますが、一般家庭の半分ほどの電気購入量で済んでいる点は良かったと思います。
- ・電気代は月3,000円から5,000円ほど節約されており、長い目で見ればかなりの効果になると感じています。
- ・昼間に太陽光で発電した電気を夜に使えるようになったことで、電力会社から買う電気はかなり減りました。

- ・節電を意識するために、無駄なところはどんどん電気を消すようになり、結果的に電気代削減につながっています。
- ・昼間に蓄電し、夜に使うよう意識することで、電気代が8,000円前後下がりました。
- ・自宅で過ごす時間帯によって電気の使い方を意識するようになり、昼と夜の電気使用を調整する習慣が身につきました。
- ・設置する前よりも環境意識が高まり、節電を含めてエコな生活につながっていると感じています。

■ 総括

節電効率については、多くの回答者が導入後に電気の使い方を意識するようになり、昼間に蓄電し夜間に使用する自家消費型の運用で、月数千円規模の電気代削減を実感しています。売電よりも節電効果を重視する傾向が強く、太陽光発電との併用によって電力購入量の大幅な削減につながっている点が特徴です。

制作:ハピネスマガジン